

平成27年度桑名市特定事業主行動計画実施状況報告

「桑名市特定事業主行動計画(前期行動計画)」について、平成27年度の実施状況を報告します。

1 職員の勤務環境に関するもの

(1) 妊娠中及び出産後の復職における配慮

- ☞ 職員が自由に閲覧できる公開キャビネットに制度等の情報を掲示し、いつでも必要な情報にアクセスできるよう整備を行いました。
また、ストレスなく出産に臨むまたは復職できるよう、各所属において業務分担等を工夫しています。

(2) 子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進

【数値目標】 子どもの出生時における父親の休暇取得率

目標値	平成27年度結果
職員の妻が出産する場合の休暇及び男性職員の育児参加休暇の取得率100%	85.70%

- ☞ 職員が自由に閲覧できる公開キャビネットに特別休暇等の情報を掲示し、周知を図りました。

(3) 育児休業等を取得しやすい環境の整備等

- ア 育児休業・部分休業・育児短時間勤務制度の周知及び取得しやすい雰囲気醸成
- イ 育児休業を取得した職員の円滑な職場復帰の支援
- ウ 育児休業に伴う臨時的任用制度等の活用
- エ その他

【数値目標】育児休業等取得率

目標値	平成27年度結果
職員の育児休業等の取得率60% (男性職員10%、女性職員100%)	44%(男性職員4.76%、女性職員100%)

- ☞ 職員が自由に閲覧できる公開キャビネットに制度等の情報を掲示し、いつでも必要な情報にアクセスできるよう整備を行いました。
また、新入職員研修時には各種制度について説明を行い周知を図っています。
各所属においても業務分担等を工夫する等、育児休業取得に負い目を感じることのないよう配慮を行っています。

(4) 庁内託児施設の設置等

- ☞ 今年度は検討が行えなかったため、次年度以降検討できるようにします。

(5) 時間外勤務の縮減

- ア 3歳に達するまでの子を養育する職員の時間外勤務を制限する制度の周知
- イ 小学校就学始期に達するまでの子どものいる職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限の制度の周知
- ウ 一斉定時退庁日、夜間の時間外勤務の原則禁止

【数値目標】時間外勤務の削減率

目標値	平成27年度結果
職員の時間外勤務時間削減率10%	前年度比 ▲3.77%

- ☞ 時間外勤務を命じる場合には、所属長がその要否を判断し、それぞれ個別に事前命令を行うよう徹底し無駄な時間外勤務の発生抑制、また、職員のワークライフバランスの向上に向けて取り組みを行いました。各課の時期的な繁忙に対し、部内全体で応援体制を敷くことで時間外勤務の偏りを減らすよう部内相互応援制度の活用を促進しました。ノー残業デーを継続して設け、職員へ定時退庁への意識付けを行いました。

(6) 休暇取得の促進

- ア 年次休暇の取得の促進
- イ 子どもの看護を行うための特別休暇の取得の促進

【数値目標】年次休暇の取得日数

目標値	平成27年度結果
年次休暇について、年間平均で15日間取得	9.8日

- ☞ 職員が取得できる休暇制度を一覧にし、全職員が閲覧できる公開キャビネットに掲示することで各特別休暇の取得促進を行いました。

(7) 職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正のための取組み

- ☞ 管理職に対しては職場風土改革の研修を行い、職場環境の改善の必要性について認識してもらいました。また、固定的な役割分担等について、人権研修等を行い意識改革を図りました。

2 その他の次世代育成支援対策に関する事項

(1) 子育てバリアフリー

- ☞ 利用者に合わせた施設の設置については、その導入について検討が必要であるが、職員に対し接遇研修を実施し、来庁者に対して親切かつ適切な対応ができるよう努めました。

(2) 子ども・子育てに関する地域貢献活動

- ☞ 地域貢献活動へ職員が積極的に参加できるような環境整備に努めます。